



# 災害に対する事前の備え

災害は、いつ、どこで発生するか分かりません。災害による被害を最小限にするためには、「日頃の備え」「災害時の適切な判断」「落ち着いた行動」が必要です。急な事態に慌てないよう、一人ひとりが平時より「災害に備える」といった意識をもって行動することが重要です。

問 危機管理防災課 ☎ 339

## 《地域のリスクを知ろう》

災害から身を守るためには、自分が住む地域における災害リスクを知ることが重要です。「八潮市洪水地震ハザードマップ」では、大雨により河川がはん濫した場合に浸水が想定される範囲やその深さ、東京湾北部地震が発生した場合の「揺れ」により想定される被害について掲載しています。



## 《備蓄をしよう》

水と食料は、最低でも3日分(推奨7日分)を備蓄しておきましょう。7日間分を備蓄することは難しいと思われがちですが、冷蔵庫の中のものを活用することで数日分の食料となる可能性があります。災害が起こったときは、「冷蔵庫の中のもの→普段買い置きしている食品→非常食」の順で食べることで、必ずしも非常食だけで7日分を確保する必要がなくなります。

また、「ローリングストック法」という備蓄方法もあります。

### ローリングストック



- ①食料(レトルト食品など)・水を備蓄として多めに用意する。
- ②普段の食事の中で定期的に食べる。
- ③食べた分を買い足し補充する。

## 《災害に関する情報収集をしよう》

災害時は、最新の情報を収集し、早めに行動することが大切です。

- ・Yahoo!防災速報
  - …緊急地震速報や豪雨予報をはじめ、さまざまな災害情報をプッシュ通知で配信
- ・まいたま防災(埼玉県防災アプリ)
  - …県内の災害情報や防災に関する情報をプッシュ通知で配信
- ・市ホームページ、やしお840メール配信サービス
- ・テレビによる情報収集
- ・防災行政無線



…災害による危険が迫ったときには、防災行政無線から皆さんの安全を守るために必要な緊急情報を放送します。内容が聞き取れなかった場合は、防災行政無線テレホンサービス(☎0120-840-225(無料))で、放送した内容を聞き直すことができます(放送終了から24時間以内)。



## 土のうの配布

水害の危険から事前に備えるため、市役所と水防災資機材倉庫に加えて、9月から新たに八潮消防署で土のうの配布を開始しました。希望する方は、事前に電話で八潮消防署(☎996-0119、受付=午前9時~午後5時)へ申し込みのうえ、お受け取りください。

## マイナンバーカード取得支援・マイナポイント申込支援サポート窓口を開設

マイナンバーカードの取得支援およびマイナポイントの申込支援サポート窓口を開設しました。

マイナポイントを受け取るためには、マイナンバーカードの取得申請を令和4年9月30日までにを行う必要がありますので、この機会にご活用ください。

問 サポート窓口、マイナポイントに関すること=企画経営課 ☎ 310  
マイナンバーカードの交付に関すること=市民課 ☎ 210

### マイナンバーカード取得支援サポート窓口

#### ●フレスポ八潮サポート窓口(1階プロムナード)

☎令和5年2月28日(火)まで(フレスポ八潮の休業日を除く)

受付時間 午前10時~午後8時

☎ビデオ通信機器(タブレット)によるオンライン申込支援サポート ※申し込みに必要な顔写真の撮影もできます(無料)。また、マイナポイントの申込支援サポートも行っています。

#### 手続きに必要なもの

- ・本人確認書類
- ・「2次元コード付き交付申請書」またはマイナンバーがわかるもの(市内在住の方はなくても手続きできます)



サポート窓口案内図



サポート窓口の様子

### マイナポイント申請支援サポート窓口

#### ●市役所サポート窓口(本庁舎1階)

☎令和5年2月28日(火)まで(土・日曜日、祝日および年末年始を除く)

受付時間 午前8時30分~午後5時

☎案内係による申込支援サポート

#### 手続きに必要なもの

- ・マイナンバーカード
- ・マイナンバーカードの暗証番号(数字4桁)
- ・通帳・キャッシュカードなど公金受取口座として登録する口座番号がわかるもの(登録する方のみ)
- ・マイナポイントを付与する決済サービスのカードなど(決済サービスIDおよびセキュリティコードが必要)

#### マイナポイントとは・・・

国の消費活性化策のひとつとして、マイナンバーカードを活用した事業です。

マイナンバーカードを取得した方が、自身のキャッシュレス決済サービスを1つ選択し、申し込みすることで、最大20,000円分のポイントを受け取ることができます(マイナンバーカード取得で最大5,000円分、健康保険証としての申し込みで7,500円分、公金受取口座の登録で7,500円分)。

